



子供の歩行中の事故の特徴

約8倍

小学1年生の歩行中の
死者数は小学6年生
の約8倍！

4～7月

4月～7月と
10月11月が多い！

下校時間帯

15時台～17時台で
約5割！

交差点注意

約4割が
交差点内での事故！

子供を伴うのは
大人の役目！



※平成25年～平成29年の県内の交通事故実態から

子供の成長に合わせて安全のサポートを

幼児への交通安全指導

子供が1人で道路を安全に通行できるように、
次のことを繰り返し教え、身につけさせましょう。

4つの約束

- ①信号のある場所で渡る
- ②右・左をちゃんと見よう
- ③車の影から渡らない・飛び出さない
- ④道路で遊ばない



横断歩道の渡り方

(信号機のある時も同様)

- ①横断歩道の手前で止まる(飛び出し注意)
- ②車が来ていないか右・左・右の順で確かめる
- ③横断中も周りをよく見て渡る



小学生になっても

幼児期に比べ、行動範囲が広がり保護者から離れて
通学することになります。歩行者として安全に道路を
通行できるようにするため、**繰り返し指導しましょう。**

通学路や自宅周辺を一緒に歩き、
立ち止まる位置や見る方向、確かめ
る対象などを、**子供の目線で具体的に
に教えましょう。**

子供は大人のまねをします。
身近な大人である保護者自身が
安全な行動の手本を示しましょう。

